

“伝統文化の継承” の山路踊り保存会 のみなさん

玖珠

議会だより



もくじ

決算特別委員会	2～3P
専決処分承認報告	4P
予算常任委員会報告	5P
総務建設農林常任委員会報告	6P
企画民生教育常任委員会報告	7P
基地対策特別委員会報告	8～13P
一般質問(11名)	14～15P
9月議会で決まったこと	16P
シリーズ“ガンバリよるばい”	16P

●発行／大分県玖珠町議会 ●編集／議会広報特別委員会 ●印刷／有株式会社 太陽印刷社

〒879-4492 大分県玖珠郡玖珠町大字帆足268-5 TEL 0973・72・1507 HP <http://www.town.kusu.oita.jp/>

第137号
2020 11.15

令和元年度決算を認定

令和元年度 歳入歳出総計決算額

各会計別	収入済額	支出済額	残額
一般会計	95億6988万円	90億1037万円	5億5951万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	19万円	19万円	0円
簡易水道特別会計	6584万円	6584万円	0円
国民健康保険事業特別会計	22億5949万円	22億2635万円	3314万円
介護保険事業特別会計	20億7125万円	20億2020万円	5105万円
後期高齢者医療事業特別会計	2億621万円	2億528万円	93万円

会計名	事業収益	事業費用	純利益
水道事業会計	2億1760万円	1億7200万円	4560万円

普通会計収支状況の推移（3カ年）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
歳入（A）	95億5214万円	113億7913万円	95億7008万円
歳出（B）	91億803万円	109億9424万円	90億1057万円
形式収支（C）	4億4411万円	3億8490万円	5億5951万円
翌年度に繰越すべき財源（D）	1億3341万円	8290万円	3084万円
実質収支（E=C-D）	3億1070万円	3億200万円	5億2867万円
前年度実質収支（F）	3億7277万円	3億1070万円	3億200万円
単年度収支（G=E-F）	▲6207万円	▲870万円	2億2667万円
基金積立収支（H）	24万円	22万円	33万円
基金取り崩し額（I）	1億1874万円	2億5937万円	2億8291万円
実質単年度収支（J=G+H-I）	▲1億8056万円	▲2億6785万円	▲5590万円

※▲は負の値（-）

【監査委員からの主な意見】

- ・令和元年度決算の実質収支は黒字ですが、財政調整基金等の取り崩し及び積立を考慮した実質単年度収支は▲5590万円となっています。
- ・基幹産業である農林業の振興や、商工業の振興、企業誘致対策による雇用の創出等により住民所得の向上を目指し財政健全化につながるよう期待します。
- ・経常収支比率は95.3%と財政が硬直化しており、経常経費削減に向けた取り組みなど弾力性の確保に努めることが必要です。
- ・滞納整理の差押え件数は362件であり、年々徴収率が向上し滞納繰越額も減少していますが、不納欠損は昨年比75.4%の増加となっています。
- ・補助金交付については、援助団体の収支結果や繰越金などを検証せず、従前の金額を交付しているものが見受けられました。意義や効果・成果を考慮したうえで交付決定を行うことを要望します。

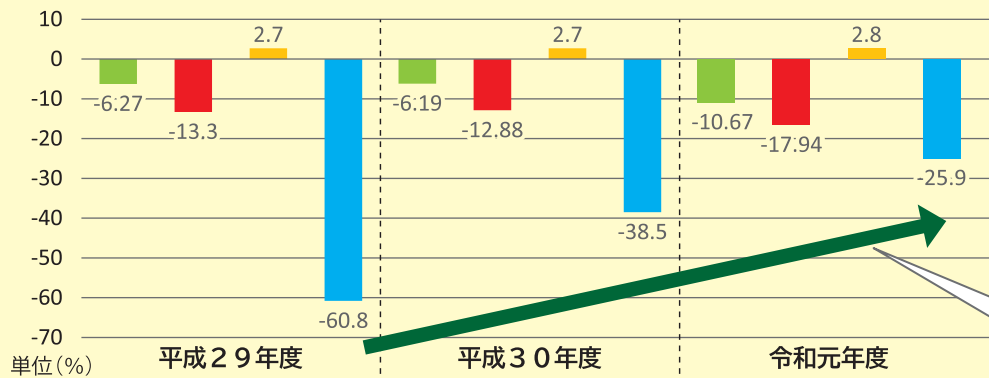
決算 特別委員会

こんなことを
審議しました

9年連続実質単年度収支赤字

令和2年第3回玖珠町議会定例会において、決算特別委員会に審査の付託を受けました令和元年度一般会計、各特別会計及び水道事業会計の決算認定案件7件について、9月15日から9月17日にわたり、執行部出席のもと審査した結果を報告します。

健全化判断比率の推移



【早期健全化基準】

実質赤字比率 15%以下
連結実質赤字比率 20%以下
実質公債費比率 25%以下
将来負担比率 350%以下

■ 実質赤字比率
■ 連結実質赤字比率
■ 実質公債費比率
■ 将来負担比率

将来負担比率が悪化傾向にある。

105件の質疑

主なものをお知らせします

一般会計

問 昨年と比較して実質収支が大幅に増額しているのはなぜか。
答 行財政改革の一環として不用額の処理をしなかったためです。

問 将来負担比率が悪化している原因を伺う。
答 新中学校建設などによる起債の償還が増えることが見込まれますが、起債の発行額を年6億円台に抑え、将来負担比率を下げていきます。

問 デザイン会議を2年間実施して効果があつたのか。
答 職員に対しファシリテーターの手法が身についています。また、会議内の意見は第6次総合計画にも取り込んでいきたいと考えています。

問 福祉バス、巡回バスなどの路線の見直しはどのように考えているのか。
答 10月1日から利用のないバス停の廃止と山浦線、大野原線については記念病院と小中病院を回るルートに変更するなど「玖珠町地域公共交通活性化協議会」において協議、決定する予定となっております。

問 農耕作業用自動車税の徴収率は伸びているのか。
答 法律の規定により3年間遡って課税しています。前年度258件の課税が新たに発生しているため、徴収率は伸びていると判断しています。

問 日本遺産事業についてどのような事業に予算を使ったのか。
答 多言語対応したパンフレットの作成や動画作成によるPR、耶馬溪風物館での情報発信等を実施しました。

問 町営住宅の使用料は、過年度分が取れないまま積み上がるのではないのか。
答 過年度分の未済額については、政策法務課と今後の取り扱いを協議している状況です。

問 農林水産業費の負担金と貸付金返還金に収入未済がでているが原因と対応を伺う。
答 過年度事業に実施した草地改良事業の地元負担金が現在に至るまで未収となっている状況です。返還金についてはウエストファームの件ですが裁判も最終したため今後速やかに請求をしていきます。収入未済額については、10月に政策法務課がヒアリングを行い、対応を検討する予定です。

国民健康保険事業特別会計

問 国保税の徴収率が低いのはなぜか。滞納繰越額が大きいため徴収率を引き下げています。高齢者や低所得者が多く加入しており、負担が大きいのではないかと考えられます。
答 なお、全国的にも加入者が減少し医療費が上昇しているなか、国も健康増進への取組を強化している状況です。

介護保険事業特別会計

問 週一体操への支援は考えていないのか。
答 各地区で週一元気アップ体操教室を行っており年々参加者が増えていますが、財政的な支援は行っていません。特定のグループに対して支援を行うことは難しい状況ですが、何か支援ができないか検討をしていきます。

審査結果

経常収支比率が95.3%と前年度に比べ0.7%の増、財政調整基金の取り崩しなど財政は厳しい状況です。将来の財政状況を見据え、監査委員や各委員からの提言も活かして頂き、計画性のある事業展開など、引き続き行財政改革に取り組むとともに住民福祉の向上のため、一層努力されるよう付け加えて、全会一致で認定しました。

報告 専決処分を承認

今回の専決処分は、地方自治法第179条に基づいて、特に緊急を要するため町長が判断し執行したものです。

補正予算(第4号)の概要

補正額 3731万円の増額

【内容】新型コロナウイルス感染症に
関する緊急対応策にかかる経費

【主な事業】

- ・ 児童生徒等休業支援対策事業 16,964千円
- ・ 新型コロナ対策高収益作物次期作支援交付金事業 1,270千円
- ・ 学校施設感染予防対策事業 16,856千円



子ども用プレミアム商品券



町道災害の状況

補正予算(第5号)の概要

補正額 5億9900万円の増額

【内容】令和2年7月豪雨に伴う災害復旧対策事業費

【主な事業】

- ・ 災害救助費 22,386千円
- ・ 災害関連対策費 68,783千円
- ・ 土木施設災害復旧費 2億70,554千円
- ・ 農林水産災害復旧費 2億10,862千円
- ・ その他施設災害復旧費 21,915千円
- ・ 給水施設整備事業費 4,500千円

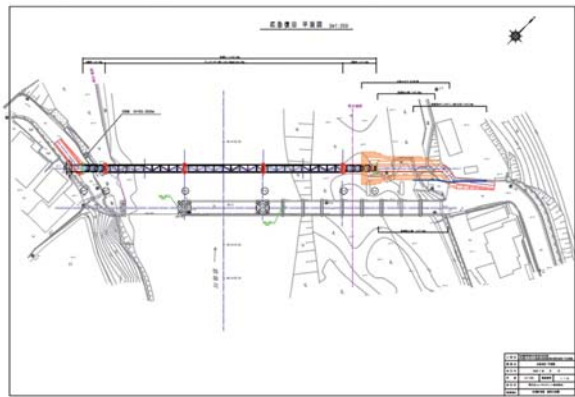
補正予算(第6号)の概要

補正額 1億9912万4千円の増額

【内容】令和2年7月豪雨に伴う災害復旧対策事業費

【主な事業】

- ・ 土木施設災害復旧費 1億99,124千円



北山田下泊里人道橋設計図

教育委員を任命

前任者の任期が令和2年10月20日をもって満了するため、後任の委員として任命されました。

新委員 合谷美香氏

任期 令和2年10月21日～令和6年10月20日までの4年間

購入契約

鳥獣被害防止総合対策(鳥獣被害防止総合支援事業) 鉄線柵購入

【契約相手】有限会社 玖珠商事
【契約金額】10,230千円

請負契約

北山田自治会館建設事業北山田自治会館新築工事

【契約相手】新成建設株式会社 玖珠営業所
【契約金額】1億94,150千円

防災行政無線デジタル化整備事業玖珠町防災行政無線デジタル化整備工事

【契約相手】日本電気株式会社 大分支店
【契約金額】6億65,005千円



北山田自治会館完成予想図

予 算 常任委員会

こんなことを
審議しました

新型コロナウイルス感染症対策地方創生事業

この事業は、地方創生臨時交付金を活用した、緊急対策事業です。次のような事業に取り組みます。

補正金額 1億77,863千円

○公共施設感染防止対策事業

14,299千円

《こんな事業》

公共施設の感染防止のため、メルサンホール・B&G・わらべの館・久留島武彦記念館・役場にサーマルカメラ・自動水洗化等を行います。



イメージ

補正予算額 8億2880万円増額

令和2年度一般会計補正予算（第7号）は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8億2880万円を増額し、歳入歳出それぞれ122億6713万1千円とするものです。主なものは次のとおりです。

○学校施設感染予防対策事業

73,434千円

《こんな事業》

来年度学校施設の夏季開校に向けた教室の空調設備の整備を行います。学校の空調は、令和元年度に普通教室は整備済みですが、今回特別教室を実施し、3密対策に対応した整備を行います。



学校の空調

○デジタル化推進事業

35,083千円

《こんな事業》

住民サービスのデジタル化として、「珍珠町アプリ」、「動画情報配信システム」の制作、スマホ等端末の取得助成事業を行います。

7月豪雨に伴う災害復旧対策事業

○農林水産災害復旧事業

豪雨による被害を受けた農地、施設、林道の復旧事業に取り組みます。

補正金額 1億22,913千円

【内容】

・単独耕地災害復旧事業

被害額40万円以下の小災害120件

54,139千円

○土木施設災害復旧

豪雨により被害を受けた道路、河川の復旧事業に取り組みます。

補正金額 2億39,834千円

【内容】

・道路橋梁補助災害復旧事業

橋梁1件、道路12件、河川11件

その他 2億25,206千円



下の園橋

○カウベルランドくす土地購入事業
施設が所在し、これまで賃貸借契約していた土地等を町有地として購入するものです。

補正金額 59,882千円

【主な質疑応答】

問 用地購入後の利活用はどう考えているのか。

答 利活用の条件付きで募集をかけていきます。

○鹿倉休憩舎解体事業

補正金額 13,235千円

【主な質疑応答】

問 解体後は植栽するのか。予算の範囲は。

答 植栽は計上していません。建物の解体と舗装の剥ぎ取り整地工事費です。

討論の中で、デジタル化による新しいまちづくりは重要であり、今後住民協働の推進を図るよう意見がありました。

審査の付託を受けました議案5件について、全会一致で可決すべきものと決しました。

総務建設農林 常任委員会

こんなことを
審議しました

条例改正 情報公開を整理

閲覧可能な文章など、一般に容易に入手・利用が可能なものは、情報公開の対象にしないことで、市民の知る権利を整理し運用します。

条例改正 申請を簡素化に

重度心身障がい者の医療費助成する手続きを個人情報による情報連携を行なうことで申請書類を減らします。

【主な質疑応答】

問 所得関係を調べるのか。

答 既に地方税関係情報が連携されておき、新たに年金給付情報を連携します。

陳情 分煙環境整備を

本陳情は令和2年4月に健康増進法の一部改正に伴い、望まない受動喫煙の防止を図るため、地方たばこ税を活用し分煙環境整備の積極的な検討を求めめるものです。

【主な質疑応答】

問 分煙室を役場や学校などの公共施設内に設置できるのか。

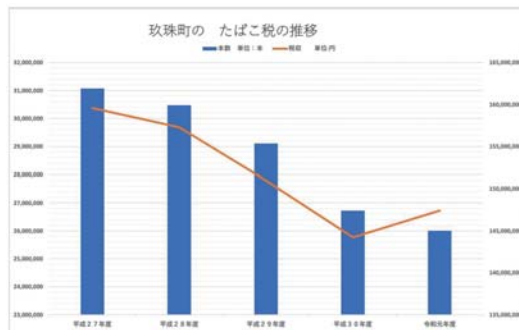
答 公共的な建物内には喫煙所の設置はできませんが、敷地内においては、分煙機等の整備や喫煙案内板の設置など、一定の条件を満たせば設置できます。

問 たばこの税収はどうなっているのか。

答 需要は、減っていますが単価が上がったので、たばこ税収はここ数年約1億4千万円を維持しています。



喫煙所
SMOKING AREA



要望 地方税財源の確保を求め

本要望は、全国町村議会議長会から、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、地方自治の急激な悪化に対し、全国の町村議会より、地方税財源の確保を求めめる要望書を国に対して提出を求めめるものです。

請願 地方財政の充実・強化を

本請願は、政府の予算編成のスケジュールに合わせて地方財政の確立を目指し、議会から地方財政と社会保障の重要性を直接国に伝えるための意見書の提出を求めめるものです。

【主な質疑応答】

問 意見書の中で森林環境譲与税の「森林需要の大きい自治体」への譲与額を増加させる検討を求めめるを「森林産業従事者多い自治体」に変更することは出来ないか。

答 請願者に、主旨を伝え、修正を打診します。

今議会に審査の付託を受けました議案2件、請願1件、陳情1件、要望1件について、全会一致で可決すべきものと決しました。

報告

企画民生教育 常任委員会

条例改正 性別欄廃止、コンビニ でも印鑑証明書発行

印鑑条例の一部が改正され、性的少数者に配慮するため印鑑登録証明書の性別欄が10月より廃止されます。また、マイナンバーカード所持者は、コンビニエンスストアでの印鑑登録証明書が来年2月から取得できるようになります。

基金条例から削除

健康ウオーク事業の終了に伴い基金条例から項目が削除されます。

〔主な質疑応答〕

問 今までのようにB&G等でデータ測定をしてもらえるのか。
答 測定機械はすべて返却していただきますが、有料でデータをタニタへ送る有料サイトが利用できます。

報告

基地対策 特別委員会

意見交換会を開催

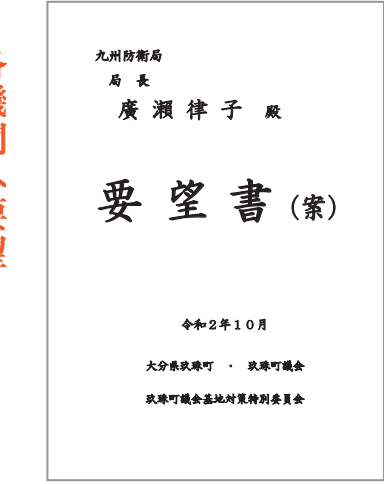
令和2年8月20日に日出生地区自治委員との意見交換会を行いました。

【主な意見、要望】

- ・車谷く小河内線の代替路線の整備について
- ・演習場周辺の自衛隊車両の安全運行について
- ・演習中の訓練区域外での牧草採取について
- ・演習場周辺の防音工事の範囲見直しについて
- ・射撃音の測定器設置個所の変更について

基地対策委員会を開催

令和2年8月28日に基地対策特別委員会を開催して、意見交換会の意見要望について執行部と協議し、要望書をとりとめました。



各機関へ要望

令和2年10月22日、九州防衛局、西部方面総監部へ要望を行いました。
防衛省への要望は、11月中旬を予定しています。



地元負担軽減のために意見交換

町政を問う

一般質問

※一般質問とは議員がその町村の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものである。



秦 時雄

災害復旧の見通しについて

問

北山田下泊里橋復旧の見通しは。

答（建設水道課長）

橋梁の復旧については、落橋後に国交省が現地視察し協議を行い、下泊里人道橋の設置、本線橋梁計画などの方向性が示され、人道橋については10月末をめどに着手予定、橋梁本体が開通するまで3ケ年は、人道橋を供用し、本線橋梁の復旧工事は、令和5年3月までに完了の見込みです。

受動喫煙対策の取り組みについて

問

改正健康増進法が今年4月に全面施行された。望まない受動喫煙の防止を図るため、施設の一定の場所を除き喫煙が禁止された。庁

舎や各施設等に特定屋外喫煙場所の設置の考えは。

答（総務課長）

現在、庁舎内に2ヶ所の特定屋外喫煙場所を設置しています。

答（教育政策課長）

町立小中学校及び幼稚園については、法律に従い、施設敷地内は禁煙としていますが、特定喫煙場所の設置は行っていません。今後設置の予定はありません。

答（社会教育課長）

メルサンホール、運動公園等の施設は保健機能や体育施設であり、喫煙場所は設けていません。

問

玖珠町受動喫煙防止条例の制定の考えはないか。

答（子育て健康支援課長）

町民の意見や関係機関との情報共有と連携も必要。当面は啓発活動を最優先としながら、条例制定の機運が高まるよう対応していきます。

その他の質問

一、新型コロナウイルス禍での本町の定期予防接種について



河島 公司

玖珠町第6次総合計画策定に向けて

問

今後10年の町のあるべき姿、進むべき方向の基本的な指針となる第6次総合計画の策定について、計画を立てる上で過去10年の評価が大事になります。最初に学校教育の充実と生涯学習の推進が連携した取り組みが重要と考えています。地域が学校を支援、学校が地域貢献できる仕組みづくりを取り入れてほしい。併せて子どもたちと高齢者が多く関わることが、心と体の健康に大きな相乗効果があると思うが、教育委員会の見解を。

答（教育長）

子どもの成長過程における地域と社会との関わりや、学校と地域の連携協働は不可欠なものと考えています。学校を核とした地域づくりを推進していく視点を持つことが非常に大事です。学校と地域の連携協働は、子どもたちの豊かな成長に繋がり、地域・人づくり

の好循環を生み出し、非常に地域が活性化されるものと考えています。社会教育施設を拠点として、高齢者の健康増進や文化の継承等の課題を持つ社会教育活動とつながり、双方方向の関係を持つことが有益と考えています。

その他の質問

- 一、運動公園での住民の活動機会づくり
- 一、日本童話祭の運営改革について
- 一、文化の継承（山路踊り・わらべサークル・楽）について
- 一、ふるさと応援寄付金について
- 一、自治会活動の維持発展について
- 一、豪雨災害を未然に防ぐ河川管理について
- 一、地域公共交通の施策について



学校と地域の連携



細井 良則

不登校の児童生徒の支援を

問

不登校の児童生徒の学力向上のためにGIGAスクール構想の先駆けとしてオンライン教育はできないか。

答（指導企画監）

大分県の支援事業の一つとして、すららネットオンライン学習ソフトがありますので、一人一台のパソコン導入と合わせて不登校生への活用を検討しています。

問

オンライン教育の条件が整った場合、不登校の児童生徒を出席扱いにできないか。

答（指導企画監）

オンライン教育でアクセスを確認できるので出席扱いにできると思います。

キッズミュージカルの継続を

問

本年度で終了するキッズミュージカルの継続を望む声が多いが継続できないか。

答（社会教育課長）

町づくりや情報発信の観点から、町の魅力を発信する団体に成長していただきますので、関係各課と協議したいと思います。

問

童話の里ならではの情操教育の一環として取り組みはできないのか。

答（町長）

児童生徒が本当に明るく見違えるぐらい素晴らしい効果が出ていますので継続に向けて関係各課と十分協議します。



ミュージカル公演会



宿利 忠明

副町長に聞く

問

副町長に就任され5ヶ月となるが、玖珠町の感想は。

答（副町長）

玖珠町の印象は、森藩城下町の町並みなどの歴史遺産、機関庫などの産業遺産。独特な自然風景、名水、棚田、滝など多彩な顔を持つ地域資源に恵まれた町で、個性ある魅力的な町だと感じています。今後は町外の活力を取り込むことが重要であり、そのためには、情報発信し、地域の資源を再認識し、磨きあげることが必要であると考えます。

問

町外の活力を取り込むためにどのようなことを考えているのか。

答（副町長）

観光分野に限らず、様々な施策

を講ずることで、玖珠町との縁や魅力を感じ応援する方を増やしていくことが大事だと考えます。

問

副町長として、どのような町政施策に心を配り、町発展に取り組んでいくのか。

答（副町長）

地方の自治体で急速に進む少子高齢化、人口減少に向き合い、地方創生に取り組む大事な時期です。町長を補佐し、町長の指示の下、施策の推進に地道に、かつ着実に成果を出せるように取り組んでいきます。

その他の質問

一、令和2年7月豪雨災害について

・ 40万円以下の小災害について

・ 林道作業道について

・ 改良復旧について

一、新型コロナウイルスの感染防止について

・ PCR検査について

・ 学校での感染防止対策について

いて



藤本 勝美

下泊里橋の復旧は、将来的な防災意識を持って実施すべき

問

被災した下泊里の橋の復旧は、橋脚のない橋とか、1本の橋脚にするとか、将来的な防災の考えを持って計画できないか。

答（建設水道課長）

落橋した橋台の基礎部の調査をし、既設の橋梁の安全性を確認しながら、来年3月までに詳細設計をつくる計画になっています。

被災ごみ処理における役場の対応について

問

7月豪雨災害における被災ごみ処理において、被災者の立場で対応ができたか。

答（住民課長）

災害ごみ受付事務等において、人員不足などにより、ごみの持ち込みに時間制限をせざるを得ず、被災された方々には、申し訳なく思っています。今後は、被災マニュアル

ル等を作成する中で、万全の体制を組み立てていきたいと考えています。



被災ごみ置場

地域に愛着や誇りを持つ人材の育成を

問

地域づくりは人づくりであり人材育成の視点から、教育委員会の考えを伺う。

答（教育長）

郷土教育などを通じた人材育成は、都会にない玖珠町ならではの自然環境、人情豊かな人間関係など教育資源の魅力を発見して、有効活用することと考えております。

その他の質問

一、戸畑地区の河川と農地の早期復旧



河野 博文

日出生小中学校（小野原分校含む）生徒の森中央小中学校通学・通学費補助について

問

日出生地区住民より日出生小学校（小野原分校含む）生徒を森中央小学校へ通学希望されているが、玖珠町・教育委員会の考えは。

答（教育政策課長）

教育委員会では8月20日に協議会を持ち委員の意見を聴取しました。小規模校のデメリットは理解するが小規模校ならではのメリットもあることを理解しているか、小学校がなくなることを地域はどう思っているかといった疑問があり、確認ができなければ決定する協議ができないと判断し、日出生地区で懇談会をすることにしました。

問

来年の4月から森中央小に通学できるように進めてほしいと思う。通学についてスクールバス利用についても規定の改正を考慮しないか。

答（教育政策課長）

森中央小学校への通学が教育委員会で決定されれば遠距離通学になるのでスクールバス、タクシー等を使うか委員会で協議します。



日出生小学校

その他の質問

一、県道書曲野田線の道路災害の早期復旧について

一、朝夕通勤通学時の森駅前通り渋滞緩和の為、春日交差点の信号を部分歩車分離からスクランブル交差点への変更を大分県に要望できないかについて



松本 真由美

災害による指定避難所等の見直しは

問

本町12か所の指定避難所増設や緊急避難場所の見直し、又民間の施設利用の考えはないか。

答（基地・防災対策課長）

現在、増設や新設等の見直しの予定や、民間の施設利用等の考えはありません。

答（町長）

今回の災害を教訓に、避難所の定員制、来年稼働予定のデジタル化によるリアルタイム情報サービス等対応を考えていきたい。又、今秋台風がくるかもしれない。早急に諸問題及び協力施設等含めて検討したいと思えます。

問

災害被災ごみや土砂等仮置場は町有地等利用して各地区ごとに確保できないか。

答（住民課長）

災害ごみの件数、全体量が把握出来ない中、被災地から遠い旧モ

問

ラロジー研究所を仮置場としたが、1週間後にはパンク寸前、災害土砂は豊後玖珠家畜市場の敷地に約20トン、今回の経験から被災者の負担軽減に災害ごみ対策等マニュアルの作成を考えています。

八幡地区指定避難所、緊急避難場所を旧八幡小学校跡に変更できないか。今回の台風10号で56名が避難した。八幡小学校体育館は、太田川の護岸より低い位置にあり、この一帯は各河川の水が集まる場所で、大変危険な避難所と思うが、今までの検討状況は。

答（基地・防災対策課長）

八幡地区の避難所は、担当者から特に問題ないと報告を受けています。現段階では指定変更はありません。



八幡小学校体育館

その他の質問

一、鳥獣による農林業被害防止対策
一、特殊詐欺等被害防止対策



小幡 幸範

読書活動の推進に向けて

問

読書活動の推進に向けた取り組みの進捗は。

答（わらべの館館長）

電子図書館が実現可能か協議をしているところです。

問

読書条例や図書館条例を策定する考えはあるのか。

答（わらべの館館長）

現在、公共図書館が設置されていない市町村は県下で2町村となっていることや、公立図書館という位置づけは読書活動を進める上で非常に重要であることから計画策定や条例化を考えています。

活用面でも県下トップを目指して

問

GIGAスクールを運営する上でICT支援員を各小学校に配置

する考えはないのか。

答（教育政策課長）

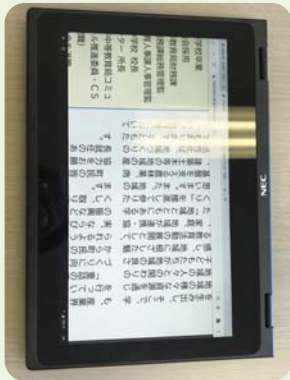
各学校で先生方の不安や需要が大きくなると考えていますので、配置について検討していきます。また、中学校に配置しているICT支援員の力を借りながら、基本操作から活用までの研修を行いましたと考えています。

問

GIGAスクール構想を通してどのような学びを考えているのか。

答（教育長）

通学できない児童生徒に対するオンライン教育やA・L・Tによる複数の学校の同時授業、学校間交流など多様な意見や考えに触れる機会の充実を考えています。



授業への活用を

その他の質問

一、IT技術の活用について
一、第6次総合計画について



衛藤 和敏

コロナ過の行政運営は

問

今年になり、町主催の童话祭をはじめ多くのイベントは軒並み中止となった。また、各自治体においても公民館祭り、盆踊り、各組織の総会、地域のお祭りなど縮小や中止となり、コミュニティ活動が崩壊に近い異常事態です。社会活動を正常に戻す方向に舵をきることが重要と思うが、町長はどのような判断で行政運営を行うのか。

答（町長）

当初は一定期間過ぎれば終息するという考えでしたが、現在は新たな生活様式を構築する方針にシフトし、感染症対策と経済活動活性化対策を並立することが求められます。町民の皆さんに、国のガイドラインを正確に知らせることにより、いろんなイベントや行事等を可能な限り実施していただくことが重要と思っています。一方で経済の停滞を収めるため、商店

や中小企業への元気づくり対策を講じていきます。

豪雨災害対応は万全か

問

大災害が発生し、道路が寸断されれば玖珠町は孤立化する。また、河川敷は使えないが、4地区にハリポートを整備できないか。

答（基地・防災対策課長）

旧玖珠中学校グラウンドを代替地としています。緊急時はヘリポート以外でも離着陸は可能なため整備は必要ないと考えますが、必要性を考慮し地域住民や消防団などと携携し、離着陸が可能な場所の情報収集を行いたいと思います。



ヘリポートの整備を



横山 弘康

自然環境を町づくりに

問

国指定名勝、国定公園、保安林等の制約や規制を知らずに開発行為後に現状復旧を命じられるなどのトラブルが発生しています。これらは県の管理ですが、名勝や国定公園の所在地として制約や規制をどのように町民に知らせてきたか。

答（社会教育課長）

名勝地は耶馬溪、旧久留島氏庭園があり、代表的景観として17か所が指定されています。現状変更には個別に対応してきましたが、規制に特化した町民向けの周知は特段行っていません。

答（企画商工観光課長）

町の大部分が国定公園に指定されていますが、規制についての周知は積極的に行っていません。相談があった場合は対応していません。

問

国定公園、国名勝の素晴らしい景観、自然を町づくりにどのようなように活かそうとしているのか。

答（町長）

町は素晴らしい自然環境を売りにした町づくりを目指しています。日本遺産やばけい遊覧に認定される一帯の雄大・豊かな自然が町や地域の財産ということを知っていただき、それぞれの個別、全体を活かす活用の仕方を町民の皆さんと一緒に考えて取り組んでいきたいと思っています。

その他の質問

一、7月豪雨時の避難所の状況と今後の避難所の在り方（地域との連携）について
一、アライグマ等小動物害獣被害から農作物を守る対策について



捕獲されたアライグマ

旧中学校の備品活用

問

備品等の備品管理システムへの登録状況は。

答（総務課長）

旧北山田中学校の整理がほぼ終了し、施設内の清掃、備品等用品の選別、状態確認、調査簿への記載等、保管するものの写真撮影を行っている状況です。

問

7月豪雨で被災された企業、個人の方へ、旧中学校の備品を無償譲渡ができないのか。

答（総務課長）

無償譲渡により被災者の方の一助になると言う事であれば、譲渡できるのではないかと考えています。9月中旬に回覧等を行い、10月中に備品を見て頂き、場合によっては引き取りを検討していきます。



大野 元秀

問

各旧中学校の備品の最終的な処分の計画は。

答（総務課長）

可能な限り簡略的に行い、来年度中には全ての調査、登録を終了したいと考えています。



旧中学校の備品

その他の質問

一、デジタル化やオンライン化など学校における環境整備の状況について

9月議会で決まったこと

開催日：令和2年9月4日～9月29日

全：全員賛成

件名	付託	議決月日	結果	頁
専決処分の承認を求めることについて（その13） 和解及び損害賠償の額の決定について	—	9 / 4	全 承認	—
専決処分の承認を求めることについて（その14） 令和2年度玖珠町一般会計補正予算（第4号）	—	9 / 4	全 承認	P 4
専決処分の承認を求めることについて（その15） 令和2年度玖珠町一般会計補正予算（第5号）	—	9 / 4	全 承認	P 4
専決処分の承認を求めることについて（その16） 令和2年度玖珠町一般会計補正予算（第6号）	—	9 / 4	全 承認	P 4
玖珠町教育委員会委員の任命について	—	9 / 4	全 同意	P 4
玖珠町情報公開条例の一部改正について	総務建設農林	9 / 29	全 可決	P 6
玖珠町印鑑条例の一部改正について	企画民生教育	9 / 29	全 可決	P 7
玖珠町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	総務建設農林	9 / 29	全 可決	P 6
玖珠町基金条例の一部改正について	企画民生教育	9 / 29	全 可決	P 7
玖珠町指定居宅介護支援等の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	企画民生教育	9 / 29	全 可決	P 7
鳥獣被害防止総合対策（鳥獣被害防止総合支援事業）鉄線柵購入契約について	—	9 / 4	全 可決	P 4
北山田自治会館建設事業 北山田自治会館新築工事請負契約の締結について	—	9 / 4	全 可決	P 4
防災行政無線デジタル化整備事業玖珠町防災行政無線デジタル化整備工事請負契約の締結について	—	9 / 4	全 可決	P 4
令和2年度玖珠町一般会計補正予算（第7号）	予算常任	9 / 29	全 可決	P 5
令和2年度玖珠町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	予算常任	9 / 29	全 可決	—
令和2年度玖珠町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	予算常任	9 / 29	全 可決	—
令和2年度玖珠町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	予算常任	9 / 29	全 可決	—

件名	付託	議決月日	結果		頁
令和2年度玖珠町水道事業会計補正予算（第1号）	予算 常任	9/29	全	可決	—
令和元年度玖珠町一般会計歳入歳出決算の認定について	決算 特別	9/29	全	認定	P 2
令和元年度玖珠町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算 特別	9/29	全	認定	P 2
令和元年度玖珠町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	決算 特別	9/29	全	認定	P 2
令和元年度玖珠町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算 特別	9/29	全	認定	P 2
令和元年度玖珠町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算 特別	9/29	全	認定	P 2
令和元年度玖珠町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算 特別	9/29	全	認定	P 2
令和元年度玖珠町水道事業会計歳入歳出決算の認定について	決算 特別	9/29	全	認定	P 2

諮問

件名	付託	議決月日	結果		頁
人権擁護委員候補者の推薦について 中島圭史氏（新任）	—	9/4	全	適任	—

請願

件名	付託	議決月日	結果		頁
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出に関する請願書	総務建 設農林	9/29	全	採択	P 6

陳情

件名	付託	議決月日	結果		頁
地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書	総務建 設農林	9/29	全	採択	P 6

要望

件名	付託	議決月日	結果		頁
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める要望書	総務建 設農林	9/29	全	採決	P 6

意見書

件名	議決月日	結果
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出に関する意見書	9/29	可決
地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する意見書	9/29	可決
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	9/29	可決

“ガンバリよるばい”

このコーナーは
玖珠町で生き活きと活動する
社会教育団体を紹介します！

郷土文化の継承に「町民の皆さん」参加しませんか！

玖珠町山路踊り保存会



役員：佐藤 隆会長
熊谷ルツ子・河野英美副会長以下14名で構成
(コミュニティー代表・商工会女性部踊り
指導員代表・地方代表)
会員数：現在活動している人 80人
正会員一町内各地区コミュニティー組織
創 設：昭和35年(1960)10月15日

《由来》 山路踊りは、森藩八代藩主の通嘉が江戸から召し連れてきた御部屋様によって伝えられたといわれている。城内の月見の宴、花見の宴等では御殿女中や局、侍たちも楽しんだといわれ、また町の辻の盆踊りとしても踊り伝えられてきた。
それがいつしか忘れられ、昭和10年(1935)頃、森町女子青年団によって再び踊られるようになった。これが「正調山路踊り」といわれるものである。
その後、昭和25年(1950)の第1回日本童話祭にはメインイベントとして「山路踊り(数え歌)・酒宴づくしの唄」に合わせて正調山路踊りが披露された。
昭和38年に、時代に沿って一般の人々が踊りやすく親しみやすい、「新山路踊り」を作成した。



活 動 内 容：日本童話祭、童話の里夏まつりを中心に、町の観光行事や地域行事に参加
唄・演奏・踊りの各部門の後継者育成、地区別の練習(月1~2回)

問い合わせ先：保存会事務局(役場企画商工観光課内) ☎72-7153

今年も残りわずか。誰もが経験したことのない苦難の連続でした。春から「新型コロナ」、夏には「水害」、秋には「トビイロウンカ」、あらゆる行事は中止、なんて年でしょう。来年は新しい生活様式の中で、明るい話題がたくさんありますよ。願わずにはいられません。

〈編集後記〉

委員長 大野 元秀
編集長 河島 公秀
委員 小幡 幸範
委員 松本真由美
委員 横山 弘康
委員 衛藤 和敏
委員 細井 良則

「議会広報特別委員会」

9月議会の傍聴者数は
24人です。

議会の傍聴にお越し下さい。
次回の定例会は**12月**です。